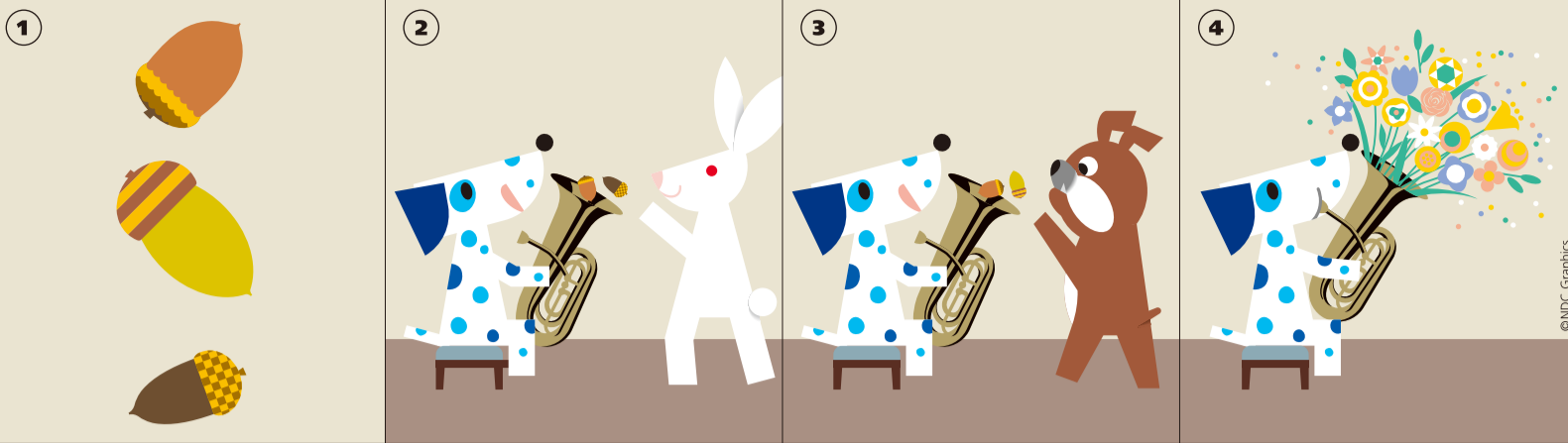




「感動の種まき」  
心に豊かな花を咲かそう



ブルーダダルは神奈フィルの応援マスコットです。

2012年12月15日発行  
発行・企画編集=神奈川フィルハーモニー管弦楽団事務局  
発行人・編集人=大石修治  
231-0004 横浜市中区元浜町2-13東照ビル3階  
電話 045-226-5045

# Prelude

2012  
12|15 土

Published by KANAGAWA PHILHARMONIC ORCHESTRA © 2012

平成14年から理事長としてずっと演奏を聴かれています。神奈川フィルの「演奏」についてどのようにお感じですか？

神奈川フィルの演奏を聴いてくださった方から、今までは「神奈川フィルはよくなったね。」と褒めていただいていた。でもマラーを本格的にやって以来、あまりその言葉は聞かれなくなりました。つまり「音がいいのは当たり前。」として、皆さんが受け取ってくださっているということです。「よくなったね。」と言われているうちは、発展段階ですからね。この点がすいぶん変わりました。

ここから先が正念場。  
応援して下さる気持ちを  
どうやって形につなげるか、  
努力を続けていきたい。

11月末には基金が1.5億円を超えました。今後、神奈川フィルがすべきことは何だと思われますか？

基金集めは、ここから先が正念場ですね。引き続き、たゆまぬ努力が必要です。12万人の署名から始まった活動がここまでのムーブメントになって、皆さんに神奈川フィルの窮状をかなり認知していただいています。ただ「寄付したいな」と思っている方はたくさんいらっしゃるのですが、その気持ちをアクションに変えていく活動が、これからは必要だと思います。いかにして、皆さんの気持ちをもうひと押し、寄付に結びつけていただくか。今までの努力より、はるかに高い努力をしないとそこまで行き着かないと思っています。

感謝の気持ちを忘れず、  
たゆまぬ努力を。

## Interview

神奈川フィルハーモニー管弦楽団 理事長  
平野 裕



ここ数年の神奈川フィルの改革について、お聞かせください。

大石専務理事に来ていただいて、神奈川フィルは演奏、営業、財務など大変変わりました。専務が先頭に立ち、これからの方向性や理念を多くの皆さんが良く理解し、協力してくれたことが今日の姿につながっているのは確かです。今後も財務の健全化と新公益法人への移行など試練は続きますが、この試練は大きな力になると思います。

神奈川フィルとかかわることになったきっかけは、何だったのでしょうか？

私の出身神奈川トヨタ自動車がかかわるようになったのは、神奈川県庁の文化関係の職員から「神奈川フィルを助けてほしい。」と頼まれたことがきっかけでした。その担当者が、私の母校の小田原高校が母体の混声合唱団「シグナス」の後輩だったのです。私は低音のバス担当でした。高校の頃から、音楽はずっとそばにありました。余談ですが、高校当時、その合唱団の指揮をしていたのが小澤征爾さんのお兄さん。そしてピアノ伴奏が小澤征爾さんという、今思えば贅沢なメンバーでした。小澤征爾さんの奥様のお母様が外国人墓地に眠っている関係で、外国人墓地を整備するためのコンサートを、神奈川フィルの演奏でやりましたね。

どんどん広がる支援の輪。  
さらなる広がりをも、  
つくっていききたい。

応援して下さっている方々に、メッセージをお願いします。

なんとお礼を言ってもいいが、言葉が見つかりません。感謝でいっぱいです。今までこんな大きな支援のムーブメントはありませんでした。応援団長である黒岩知事をはじめ、県が支えてくださることは、大きな力です。応援団副団長である林横浜市長、川本工業の川本社長や多くの皆さまのご支援のおかげで目標達成に向けて前進しています。来年4月には、ロータリークラブと協力してブルーダダル基金コンサートを開催していただく予定です。また、先般は神奈川県議会の竹内議長が中心となり、県議会議員の皆様に「神奈川フィル応援団」を結成して頂きました。これは非常に画期的な広がりです。心を豊かにする文化芸術を本当に大切に守って行こうという気持ちが伝わってきました。また、神奈川県内の市町村をはじめ、多くの企業法人さらに、自動車業界全体から寄付をいただくなど、支援の輪は広がっています。まだまださまざまな業界に、お願いしていこうと思っています。どうか皆さま、公共の文化財産としてこれからも神奈川フィルを応援してください。よろしくお祈りします。また、1月8日のパシフィコ横浜で行います『ブルーダダル基金コンサート 響け、オーケストラ』は神奈川フィルにとって存続をかけた大規模な公演となりますので、皆様のご来場を心よりお待ちしております。

[インタビュー 広報 田賀浩一朗]



首席客演指揮者に就任  
サッシャ・ゲッツェル

常任指揮者 金 聖響

## 2013年 神奈川フィル新指揮者体制

神奈川フィルは常任指揮者・金聖響との契約を2014年3月まで延長いたしました。また、2013年度からサッシャ・ゲッツェルを首席客演指揮者に迎えることになりました。ゲッツェルはウィーン・フィルのヴァイオリン奏者を経て指揮者となり、弦楽器奏者らしい繊細かつスケール感溢れる音楽づくりで高い評価を得ています。金聖響、ゲッツェルとともに進化を続ける神奈川フィルの新シーズンに、どうぞご期待ください。

サッシャ・ゲッツェル  
SASCHA GOETZEL  
ウィーン生まれ。ウィーン・フィルのヴァイオリン奏者として活躍後、指揮者へ転身。ズービン・メータ、リッカルド・ムーティ、小澤征爾らに師事。ボルサン・イスタンブール・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者。

12月18日 火より新規定期会費募集

「新たな時代への序章  
～感謝、そして挑戦のとき～」  
2013-2014  
定期演奏会ラインナップ  
決定! 横浜みなとみらいホール

第289回  
新しい音楽の夜明け  
——時代を切り拓いた巨星  
2013年4月26日 [金] 19:00  
指揮=金聖響  
♫ストラヴィンスキー/バレエ組曲「火の鳥」  
♫ストラヴィンスキー/「春の祭典」ほか

第290回  
ヴェルディ生誕200年  
——イタリア・オペラの改革者  
2013年5月24日 [金] 19:00  
指揮=現田茂夫 ヴァイオリン=三浦文彰  
♫ペーターヴェン/ヴァイオリン協奏曲  
♫ヴェルディ/「アイダ」序曲 ほか

第291回  
東欧の音楽世界  
——ドヴォルザーク、バルトーク、リゲティ  
2013年6月29日 [土] 14:00  
指揮=金聖響 チェロ=ミハル・カニユカ  
♫ドヴォルザーク/チェロ協奏曲口短調  
♫バルトーク/管弦楽のための協奏曲 ほか

第292回  
オーケストラが描く、大自然の壮大なるパノラマ  
2013年9月27日 [金] 19:00  
指揮=沼尻竜典 ヴァイオリン=石田泰尚  
神奈川フィル合唱団  
♫グラスノフ/ヴァイオリン協奏曲  
♫R.シュトラウス/アルプス交響曲 ほか

第293回  
ベンジャミン・ブリティン生誕100年  
——イギリス音楽の真髄  
2013年10月18日 [金] 19:00  
指揮=広上淳一 ヴァイオリン=ダニエル・ホープ 神奈川フィル合唱団  
♫ブリティン/ヴァイオリン協奏曲  
♫ホルスト/組曲「惑星」

第294回  
それぞれのロマンチズム  
——ブラームス、ラフマニノフ  
2013年11月22日 [金] 19:00  
指揮=垣内悠希 ピアノ=田村響  
♫ブラームス/交響曲第3番  
♫ラフマニノフ/ピアノ協奏曲第3番二短調

第295回  
ウィーン音楽の至福  
——ゲッツェル首席客演指揮者就任を祝う  
2014年1月25日 [土] 14:00  
指揮=サッシャ・ゲッツェル  
ヴァイオリン=石田泰尚 チェロ=山本裕康  
♫ブラームス/ヴァイオリンとチェロのための二重協奏曲  
♫R.シュトラウス/「バラの騎士」組曲 ほか

第296回  
ワーグナー生誕200年に捧ぐ  
——日本が誇るカベルマイスター登場  
2014年2月22日 [土] 14:00  
指揮=飯守泰次郎  
♫ワーグナー/「トリスタンとイゾルデ」より  
前奏曲と愛の死  
♫ブルックナー/交響曲第7番変ホ長調

第297回  
マラー・シリーズ、本当の終幕  
——祈り、鎮魂とともに  
2014年3月20日 [木] 19:00  
指揮=金聖響  
♫藤倉大/アトム  
♫マラー/交響曲第6番イ短調「悲劇的」